

丸の内から 関西から



現代のわたしたちは、  
日常的に外国の人と出会う社会に  
生活しています。  
さまざまな文化が出会い、織りなすことで  
つくられていく社会のあり方を、日豪交流年に  
ちなんでオーストラリアの例から考えていきます。

# 多文化共生を 考える

オーストラリアの現場から

## 国立民族学博物館 公開講演会

2006年10月27日(金)  
18:10~20:10(開場17:10)

日経ホール

東京都千代田区大手町1-9-5 日本経済新聞社ビル内

定員:600名 参加費:無料 主催:国立民族学博物館・日本経済新聞社



大学共同利用機関法人人間文化研究機構  
国立民族学博物館

# 国立民族学博物館公開講演会

## プログラム Program

- 17:10~18:10 受付  
18:10~18:15 開会:日本経済新聞社大阪本社 芹川洋一 編集局長  
18:15~18:20 挨拶:国立民族学博物館 松園万亀雄 館長  
18:20~18:50 (30分) 講演 1「多文化共生を考える—音楽、テクノロジー、そして人—」  
松山 利夫 教授  
18:50~19:20 (30分) 講演 2「アボリジナル・コンピュータ—情報化社会における共生の知恵—」  
久保 正敏 教授  
19:20~19:30 (10分) 休憩  
19:30~20:10 (40分) 講演 3「白豪主義から多文化主義へ—オーストラリアの多民族共生社会に学ぶ—」  
関根 政美 教授

松山 利夫 ●国立民族学博物館 教授

### 多文化共生を考える—音楽、テクノロジー、そして人—

オーストラリア先住民の楽器ディジュリドウの愛好家が、いま急増している。その一方で、先住民社会には、日本発の最新技術が移植された。多文化共生は、人をめぐるだけでなく、さまざまに展開している。

◆まつやま としお

1982年よりオーストラリア先住民アボリジナルの研究に従事。  
辺境のコミュニティをはじめ100万都市アデレードや地方町で研究を展開している。

久保 正敏 ●国立民族学博物館 教授

### アボリジナル・コンピュータ—情報化社会における共生の知恵—

アボリジニにコンピュータ操作を教えた経験から知ったイメージ型の情報伝達。  
それは、文脈全体を伝えるコミュニケーションが、情報化時代の多文化共生にとって  
如何に大切かを、教えてくれる。

◆くぼ まさとし

並列計算機を開発していた情報工学分野から三十代にコンピュータ民族学へと転身を図り、  
人文社会系の情報学や文化と情報の関係に関心を持ち、先住民社会でも調査を行ってきた。



関根 政美 ●慶応義塾大学 教授

### 白豪主義から多文化主義へ—オーストラリアの多民族共生社会に学ぶ—

白豪主義社会オーストラリアは、1970年代から日本を含む東アジア・米国を中心に  
アジア環太平洋地域諸国との経済関係を強化する必要が生じ、白豪主義を廃棄し  
国益の観点から多文化主義を導入したという側面を明らかにしたい。

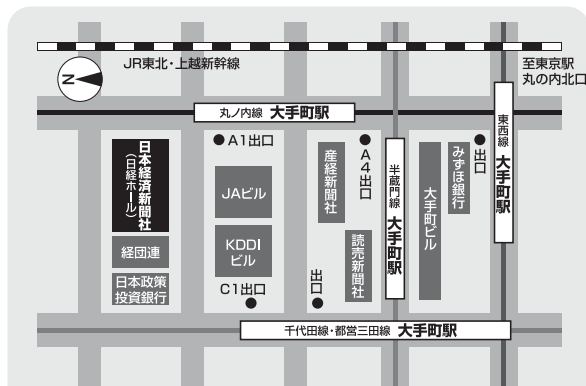
◆せきね まさみ

現代オーストラリアの多文化主義とその変化を研究。著書に、『マルチカルチュラル・オーストラリア』、  
『人種・民族・エスニシティの政治学』『多文化主義社会の到来』などがある。



# 多文化共生を 考える

オーストラリアの現場から



●地下鉄丸の内線大手町駅A1出口より左前。●地下鉄千代田線、都営三田線大手町駅下車C1出口より徒歩約5分。●地下鉄東西線大手町駅下車A4出口より徒歩約3分。●JR東京駅丸の内側北口より徒歩約10分。●JR神田駅西口から西口商店街を直進、外堀通りを左折、徒歩約10分。※当ホールには駐車場がありませんので、他の交通機関をご利用ください。

## 申込要項

### ● 申込方法

「10月27日講演会参加希望」と明記の上、1) 郵便番号、2) 住所、3) 氏名、4) 連絡先電話番号を記載し、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの1)~4)を必ず明記してください。なお、応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。10月中旬に参加証を発送する予定にしております。当日は手話通訳もごさいます。

- 会場には必ず参加証をご持参下さい。参加証はお一人様一枚となっております。
- 参加証がない方は会場には入れませんのでご注意ください。
- 宛先 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 FAX 06-6878-8479  
メールアドレス koenkai@idc.minpaku.ac.jp
- 問合せ先 国立民族学博物館 研究協力課研究協力係 TEL 06-6878-8209